

平成28年度

事業報告書

平成28年4月1日～平成29年3月31日

社会福祉法人 日田市社会福祉協議会

目次

I. 総括	……………P 1
II. 会務の運営 (法人運営部門)	……………P 2～P3
III. 地域における福祉推進のための事業 (地域福祉活動推進部門)	……………P 4～P7
IV. 福祉サービス利用援助事業 (福祉サービス利用支援部門)	……………P 8
V. 介護保険関連事業 (在宅福祉サービス部門)	……………P 8～P10
VI. 施設管理運営事業 (指定管理部門)	……………P10
VII. その他の部門	……………P11～P12
VIII. 28年度事業実績データ	……………P13～P36

平成 28 年度 事業報告

I. 総 括

① 法人の事業経営全般

社会福祉法人の制度改革を柱とする社会福祉法の改正（29年4月施行）に向けて、諸準備を進めました。具体的には定款の変更（役員定数の見直しなど）をはじめ、評議員等の選出や役員及び評議員の報酬に係る規程の一部改正並びに評議員の報酬等に関する規程を定めました。さらに、組織内部の牽制機能を強化するために、評議員選任・解任委員会を設置しました。こうした一連の見直しを通じて、法人組織の発展につなげる契機にしたいと思えます。

② 地域福祉事業部門

地域福祉事業を推進していく上での指針となる「第2期地域福祉活動計画」を策定しました。今後、この計画のなかで法人後見事業や買い物支援など新しい生活支援事業の取り組みを進めてまいります。

また、昨年4月に発生した熊本地方の震災を支援するために、西原村・南阿蘇村の災害ボランティアセンターへ、延38日間に亘り、職員11名を派遣しました。

③ 介護サービス事業部門

当年度から介護予防・日常生活支援総合事業が施行され、これまでの介護予防サービスの利用者は総合事業へ移行されました。利用者数は、訪問介護が24年度をピークに減少が続いています。通所介護は、上津江・大山が増加、その他の地域ではやや減少となっています。その結果、報酬単価が低位に設定された新制度の影響も加わり、介護収益全体は前年比△713万円（△3.2%）となりました。

④ 指定管理事業部門

保育園運営では、途中入園で園児数が増加したことで、当初見込んでいた収支のマイナス幅が抑えられました。その他、高齢者生活福祉センターについては、上津江の入居者が一時的にゼロになるなど、入居希望者が少ない傾向が続いています。

津江老人福祉センターについては、市の方針で温泉入浴は現在休止中です。

⑤ 法人経営

一般会計全体では、保育園の増収や総合事業移行による減収影響が予測を下回ったこと、障害福祉サービスの増収など、収入が当初の見込みを上回りました。支出面では介護事業に係る非常勤職員の人件費の減額等により、最終的に約1,095万円のプラス収支決算となっています。

II. 会務の運営（法人運営部門）

1. 役員会等の開催（予算拠点区分：地域福祉活動推進事業/サービス細区分：組織運営事業）

会務の適切な運営に向けて経営方針の決定、事業の執行を図るために役員会等を開催しました。

【理事会】 4 回

月 日	内 容
第1回 平成28年 5月26日 11名 書面1名	<ul style="list-style-type: none">・第1号議案 平成27年度日田市社会福祉協議会事業実績報告・第2号議案 平成27年度日田市社会福祉協議会会計収支決算・第3号議案 評議員の委嘱について・その他
第2回 平成28年 11月29日 11名 書面1名	<ul style="list-style-type: none">・第1号議案 日田市社会福祉協議会定款の変更(案)について・第2号議案 理事、監事及び評議員選出規程の一部改正(案)について・第3号議案 役員等費用弁償規程の一部改正(案)について・第4号議案 評議員の報酬等に関する規程(案)について・第5号議案 評議員選任・解任委員会運営細則(案)について・第6号議案 平成28年度日田市社会福祉協議会会計第1回補正予算(案)・第7号議案 評議員の委嘱について・その他
第3回 平成29年 2月24日 7名 書面5名	<ul style="list-style-type: none">・第1号議案 経理規程の一部改正(案)について・第3号議案 平成28年度日田市社会福祉協議会会計第2回補正予算(案)・第6号議案 評議員選任・解任委員会委員の選任について・第7号議案 評議員候補者の選任について
第4回 平成29年 3月21日 8名 書面2名	<ul style="list-style-type: none">・第1号議案 第2期地域福祉活動計画(案)について・第2号議案 平成29年度日田市社会福祉協議会事業計画(案)・第3号議案 平成29年度日田市社会福祉協議会会計予算(案)

【評議員会】 3 回

月 日	内 容
第1回 平成28年 5月26日 18名	<ul style="list-style-type: none">・第1号議案 平成27年度日田市社会福祉協議会事業実績報告・第2号議案 平成27年度日田市社会福祉協議会会計収支決算
第2回 平成28年 10月21日 21名	<ul style="list-style-type: none">・第1号議案 日田市社会福祉協議会定款の変更(案)について・第2号議案 理事、監事及び評議員選出規程の一部改正(案)について・第3号議案 役員等費用弁償規程の一部改正(案)について・第4号議案 評議員の報酬等に関する規程(案)について・第5号議案 平成28年度日田市社会福祉協議会会計第1回補正予算(案)
第3回 平成29年 3月24日 18名	<ul style="list-style-type: none">・第1号議案 平成28年度日田市社会福祉協議会会計第2回補正予算(案)・第2号議案 平成29年度日田市社会福祉協議会事業計画(案)・第3号議案 平成29年度日田市社会福祉協議会会計予算(案)・第4号議案 理事の選任について・報 告 第2期地域福祉活動計画について

2. 28年度第1回評議員選任・解任委員会

日 時：平成29年3月14日 14：00

場 所：日田市総合保健福祉センター 3F 会議室

出席委員：3名

議 題：1. 委員長の選任について
2. 評議員の選任について

3. その他の会議等の開催

- ① 支所長会議（毎月1回程度）
- ② 地区社協連絡協議会（3回 /7月、11月、2月）
- ③ 地区社協会長、事務局長勉強会（1回、7月）

Ⅲ. 地域における福祉推進のための事業（地域福祉活動推進部門）

地区社会福祉協議会活動を通して、地域の支え合い活動を推進しました。

また、地域が抱える様々な福祉課題に対して、住民の皆さんとともに考え、互いに協力して課題解決を図ることのできる福祉のまちづくりを進めるため、「第2期地域福祉活動計画」を策定しました。

1. 地域福祉活動推進事業

各地区社協における活動について研修や情報交換等を行うとともに、助成金を交付して活動の支援を行いました。

①地区社協事業への助成（予算サービス区分：地域福祉事業/サービス細区分：地区社協活動支援事業）

地域の福祉課題解決のため次のようなモデル事業の取組みを地区社協にお願いしました。

事業名		内容	助成額
1	ミニデイ	高齢者を対象にゲームや健康体操などを通じて、介護予防や社会参加できる場として開催しています。	19 地区×60,000 円 計 1,140,000 円
2	子育てサロン	未就園児と保護者を対象に、子育てについての問題や情報を交換・共有する場として開催しています。	15 地区×60,000 2 地区×30,000 計 960,000 円

②一人暮らし高齢者会食交流会への助成（予算拠点区分：共募配分金事業/サービス区分：老人福祉活動）

対象：一人暮らし高齢者（地区によっては対象枠を拡げている） 主催：地区社協

内容：参加者の孤独の解消や仲間づくりを図りました。

➤ 参加者合計 2,229人（内、助成対象外61人） 助成額合計1,083,719円

*助成単価 一人当たり500円 又は、経費の総額が助成基準を下回る場合はかかった経費分

③配食サービスへの助成（予算拠点区分：共募配分金事業/サービス区分：老人福祉活動）

対象：一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯など 実施者：地区社協、ボランティアグループ

内容：対象者の見守りや食生活の改善を目的に心のこもった弁当や手紙を届けている。

➤ 助成実績 3,033食×@300円 = 909,900円

2. 市民健康福祉まつり

（予算拠点区分：共募配分金事業/サービス区分：福祉教育・援助活動事業）

10月9日（日）にパトリア・中央公園を会場に開催しました。医療・保健・福祉・環境などをテーマに、各種コーナーを設けました。式典では福祉・健康・スポーツ関係者の表彰が行われました。福祉関係の被表彰者数は以下のとおりです。

福祉関係表彰 ・社会福祉事業関係功労賞 2名 ・模範自力更生賞 1名 ・模範介護賞 9名

・社会福祉事業協力団体 1名・2団体 ・特別寄付者 2団体

敬老関係表彰 ・輝く高年特別賞(100歳)20名 ・輝く高年賞 18名

・敬老賞 1名・ 善意賞 1名

計53名、4団体

3. 歳末たすけあい事業 (予算拠点区分：歳末たすけあい配分金事業/サービス区分：同)

①「歳末たすけあいチャリティーショー」11月26日開催 会場：パトリア日田、大山文化センター

チケット売上	300,300円	当日募金	35,822円	
バザー売上	162,680円	協賛寄付金	210,000円	計708,802円

②歳末たすけあい事業

高齢者・障がい者・児童等に対して、訪問や福祉事業を実施した地区社協に配分しました。

配分金額：2,250,000円 (20地区社協へ配分)

4. 各種相談事業 (予算拠点区分：地域福祉活動推進事業/サービス区分：総合相談事業)

- ・ 日常生活の様々な相談に応じ、適切な助言や他の機関への紹介を行いました。
- ・ 定期的な相談窓口として「心配ごと相談」及び「弁護士による無料法律相談」を実施しました。又、28年6月から障害者のために無料障害年金相談を実施しました。

相談員：心配ごと相談 …民生委員児童委員、職員

弁護士相談 …弁護士

無料障害年金相談 …社会保険労務士（年金アドバイザー）

開催日：心配ごと相談 …本所：毎週木曜日 前津江：年3回

天瀬支所：毎月第3水曜日 大山支所：偶数月第3木曜日

弁護士相談 …本所 12回 相談利用者数：85名（男40、女45）

無料障害年金相談 …本所 3回 相談利用者数：9名（男5、女4）

5. 広報・啓発事業 (予算サービス細区分：調査研究企画広報事業及び福祉人材バンク事業)

「社協だより」

地域福祉の啓発と市社協事業（主に地域福祉事業）への理解と協力を得るため、広報紙を年6回発行し、市内全戸に配布しました。

ホームページの管理 <http://www.hitashakyo.jp>

6. 生活福祉資金等の貸付事業 (予算拠点区分：地域福祉活動推進事業/サービス区分：生活福祉資金事業)

①生活福祉資金の貸付

➤ 19件 5,770,000円

償還期限内貸付分の償還率 48.2% 償還期限を過ぎた貸付分の償還率 12.4%

②愛の金庫資金・法外援護資金の貸付

現在は貸付を中断し、償還促進に努めています。

➤ 償還件数 1件 償還額 500円

③緊急援護資金

➤ 貸付件数 0件 貸付額 0円

7. ボランティア活動の推進

ボランティア活動に対する市民の関心を高め、ボランティア活動への参加・情報提供に努めました。

- ① ボランティア連絡協議会 (予算拠点区分：地域福祉活動推進事業/サービス区分：助成事業)
活動費の助成(270,000円)を行い、ボランティア連絡協議会の活動を支援しました。
- ② 地域ボランティア (予算サービス細区分：地区社協活動支援事業/助成事業)
福祉委員 573名

※福祉委員とは

地域の福祉活動を推進していくために、市社協会長から委嘱された地域のボランティア。活動の場所は、自分の住んでいる町内を主に、地区を一つの単位としています。要援護者(一人暮らしの高齢者等)に対する支援の必要性や地域の福祉課題などを早期に発見して、その解決のために民生・児童委員などと協働しています。

- ③ 住民参加型在宅福祉有償サービスの支援 (グループの単独会計)

住民参加型在宅福祉有償サービスグループ(日田ハートクラブ、事務局市社協)が、支援を必要とする高齢者を対象に、有償(30分300円)で家事支援を行いました。

➤ 年間活動件数 1,738件 利用会員数99名 協力会員数40名

- ④ 夏のボランティア体験 (予算拠点区分：ボランティア活動推進事業/サービス区分：同)

ボランティア活動に興味があるけれど、なかなか参加するきっかけがない方々のために、7月から8月の夏の期間を利用して、様々なボランティア活動に参加していただく企画です。

期間：7月21日～8月31日

参加者：97名(男25名 女72名)内、高校生49名/社会人0名/その他48名

受入れ施設：43施設内、高齢者施設16/障がい者施設2/その他(児童クラブ等25名)

8. 福祉教育 (予算拠点区分：共募配分金事業/サービス区分：福祉教育・援助活動事業)

- ① 小学校(9校)・中学校(8校)・高校(3校)を福祉協力校として指定しました。
- 助成金額 @25,000円×12校=300,000円(小学校5、中学校6、高校1)
@30,000円×3校=90,000円(小学校2、中学校1)
@35,000円×1校=35,000円(高校1)
@40,000円×4校=160,000円(小学校2、中学校1、高校1)

- ② 福祉体験教室

三芳小学校 12月6日 アイマスク 1年生を対象

三和小学校 2月14日 車椅子体験 4年生を対象

9. 障害者社会参加促進事業等 (予算拠点区分：地域生活支援事業/サービス区分：地域生活支援事業)

市民に手話や点字を理解してもらい、視覚障がい者や聴覚障がい者の社会参加の促進に努めました。

- ① 手話奉仕員養成講座 14名修了
- ② 点字講座 一般講座 1名修了
- ③ 障害者スポーツ教室等開催事業

ふうせんバレー教室を開催した。(参加者延べ153名)

- ④ 市報・社協だより等の点訳奉仕の支援
社協だより 年6回(奇数月) 市報 年12回(毎月1日号) その他
- ⑤ 市報の音訳奉仕の支援
社協だより 年6回(奇数月) 市報 年24(毎月1日、15日号) その他

10. 福祉人材バンク・高齢者無料職業紹介所事業 (予算拠点区分：地域福祉活動推進事業
サービス区分：福祉人材バンク事業)

福祉職を求める方と求人する事業者との間に立ち、職業を斡旋し、福祉人材の確保に努めた。また、高齢者の職業斡旋を無料で行いました。

- ① 福祉人材バンク ・求人申込件数 405 人 ・有効求人数 631 人 ・紹介数 10 人 ・就職数 5 人
- ② 高齢者職業紹介 ・求人数 31 人 ・就職数 29 人
- ③ 福祉のしごと就職フェア 8月 9日 大分県社会福祉介護研修センター 職員 2 名
- ④ 高齢者無料職業紹介巡回相談会 8月 24日 玖珠町役場
- ⑤ 市民健康福祉まつり出張相談会 10月 9日 パトリア日田
- ⑥ 童話の里玖珠出張相談会 10月 30日 くすまちメルサンホール
- ⑦ 福祉の仕事就職フェア 11月 20日 ウェルピア 参加者 8 人 事業所 1 6
- ⑧ ビジネス合コン企業合同面談会 2月 11日 日田市役所
- ⑨ ハローワーク出張相談 毎週火曜日 13：00～15：00

11. 生活困窮者自立支援事業 (予算拠点区分：地域福祉活動推進事業/サービス区分：生活困窮者自立支援事業)

様々な理由で生活にお困りの方に対し、課題を解決し生活の安定と自立を目指すために本人の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援を実施しました。

拠 点：「ひた生活支援相談センター」を日田市役所1階に設置

職員体制：主任相談支援員 1 名、相談支援員 1 名、就労支援員 1 名 計 3 名体制

相談者数：新規相談者数 1 8 4 名 (延 1, 2 5 2 名)

相談内容：生活費を中心に、仕事、病気、人間関係なども絡んだ複雑なケースが多い。

「支援調整会議」の開催状況

- | | | | | |
|---|-----|--------|-----------------------|------|
| ① | 28年 | 4月26日 | 生活の安定、一般就労、支援の評価について | (4件) |
| ② | | 5月30日 | 家計の安定、社会参加、支援の評価について | (4件) |
| ③ | | 6月30日 | 家計の安定、社会参加、支援の評価について | (7件) |
| ④ | | 7月27日 | 生活の安定、一般就労、支援の評価について | (5件) |
| ⑤ | | 8月30日 | 社会参加、支援の評価について | (2件) |
| ⑥ | | 9月29日 | 生活の安定、社会参加について | (3件) |
| ⑦ | | 10月31日 | 生活の安定、家計の安定について | (2件) |
| ⑧ | | 11月29日 | 生活の安定、家計の安定、支援の評価について | (4件) |
| ⑨ | | 12月27日 | 生活の安定、支援の評価について | (6件) |
| ⑩ | 29年 | 2月 8日 | 生活の安定、支援の評価について | (5件) |
| ⑪ | | 3月29日 | 社会参加、一般就労、支援の評価について | (4件) |

計 4 6 件

IV. 福祉サービス利用援助事業（福祉サービス利用支援部門）

日常生活上の様々な課題を抱えている住民に対して自立支援の充実を図るとともに、関係機関・団体との連携を深め、事業の円滑な推進に努めました。

1. 日常生活自立支援事業【あんしんサポートセンター日田】

（予算拠点区分：福祉サービス総合支援事業/サービス区分：福祉サービス利用支援事業）

判断能力が低下した高齢者や知的障害・精神障害のある方が、安心して生活できるよう、生活支援員が定期的に訪問し、福祉サービスの利用援助、日常的金銭管理、日常生活上の手続援助、書類等の保管を行いました。

➤ 支援実施件数 383回 ➤ 利用契約者 31名 （前年比+6名）

2. 地域包括支援センターブランチ

（予算拠点区分：介護保険事業/サービス区分：包括ブランチ事業）

合併周辺地域（3津江管内）において、高齢者、障がい者や子育て世帯など地域住民から総合的な相談を受けました。

➤ 連絡会議の開催 3回

➤ 相談件数 前津江支所 122件 中津江支所 144件 上津江支所 103件

V. 介護保険関連事業（在宅福祉サービス部門）

利用者の尊厳の保持を徹底し、自立支援を目的とした介護保険事業、障害福祉サービス事業、障害者地域生活支援事業、介護予防・生活支援事業を一体的に展開し、在宅福祉事業の増進に努めました。

1. 介護保険事業

（予算拠点区分：介護保険事業/サービス区分：居宅介護支援、訪問介護、通所介護）

① 居宅介護支援事業

要介護状態の高齢者が必要とする介護サービスを受けられるよう、適切な援助を行った。

➤ 本所、中津江支所、大山支所、天瀬支所 年間総利用者： 2,861人

② 介護予防居宅介護支援事業

要支援状態の高齢者に介護予防サービスを受けられるよう、適切な援助を行った。

➤ 本所、中津江支所、大山支所、天瀬支所 年間総利用者： 544人

③ 訪問介護事業

利用者の居宅において、身体介護・生活援助のサービスを提供した。

➤ 本所、上津江支所 年間総派遣回数： 8,949回

④ 介護予防訪問介護事業

利用者の居宅において、身体介護・生活援助のサービスを提供した。

➤ 本所、上津江支所 年間総派遣回数： 1,439回

⑤ 通所介護事業

利用者に対して通所の機会を提供し、レクリエーション活動の他、身体状況チェック、

入浴、給食、機能訓練のサービスを提供した。

➤ 前津江支所、中津江支所、上津江支所、大山支所、天瀬支所

年間総利用者： 13,867人

⑥ 介護予防通所介護事業

介護予防のためにレクリエーション活動、身体状況チェック等のサービスを提供した。

➤ 前津江支所、中津江支所、上津江支所、大山支所、天瀬支所

年間総利用者： 1,154人

⑦ 福祉用具貸与事業 *本所のみ実施

電動ベッド、車椅子等の福祉用具を貸与した。

➤ 貸出中台数： 電動ベッド 26台 車イス 15台 (29年3月末現在)

2. 介護予防・日常生活支援総合事業

介護保険制度において、市町村が各地域の状況に応じて取り組むことができる地域支援事業です。2015年度の介護保険法改正で、認定を受けている軽度者（要支援1・2）を段階的に介護予防日常生活支援総合事業へ移行することが義務付けられました。市町村ごとの独自事業になったことで、各地域の特色を活かしたサービスの創出が期待されています。

①居宅介護支援事業（ケアマネジメントA）

日常生活支援総合事業によるサービスが適切に提供できるようケアプランを作成。

➤ 本所、中津江支所、大山支所、天瀬支所 年間総利用者： 244人

②訪問型サービス事業（基準型）

居宅において訪問介護員による身体介護及び生活援助サービス。

➤ 本所、上津江支所 年間総派遣回数： 606人

③訪問型サービス事業（A型）

居宅において訪問介護員による、身体介護を除く生活援助サービス。

➤ 本所、上津江支所 年間総派遣回数： 2,163人

④通所介護サービス事業（基準型）

機能訓練（個別機能訓練）及び運動等を提供し、生活機能の改善・回復を主としたサービス。

➤ 前津江支所、中津江支所、上津江支所、大山支所、天瀬支所

年間総利用者： 700人

⑤通所介護サービス事業（A型）

運動、参加者同士の交流及びレクリエーション等を提供し、生活機能の維持を主としたサービス。

➤ 前津江支所、中津江支所、上津江支所、大山支所、天瀬支所

年間総利用者： 921人

3. 地域生活支援事業・その他

(予算拠点区分：介護保険事業/サービス区分：介護予防支援事業)

① 障害福祉サービス事業 (国の定める事業)

障害者・児に対し、下記のサービスを提供した。

ア 居宅介護事業 イ 同行援護事業 ウ 生活介護事業

年間総利用者： 3,193人

② 障害者地域生活支援事業 (市町村の定める事業)

障害者・児に対し、下記のサービスを提供した。

ア 外出サポート事業

年間総利用者： 125人

③ 生きがいサロン事業

前津江支所、中津江/上津江支所、大山支所、天瀬支所 (2ヶ所開催)

家族介護教室 5回 開催

年間総利用者： 4,093人

④ 外出支援サービス事業

前津江支所のみ実施

年間総利用者： 731人

⑤ 障害児長期休暇生活サポート事業 (19日間)

就学中の障がい児を対象に、夏季休暇中の生活を支援しました。

実利用者21名 ・利用者延べ188名 ・ボランティア延べ 94名 ・専任職員4名

※ 軽度生活援助事業は総合事業へ移行のため廃止となりました。

VI. 施設管理運営事業 (指定管理部門)

指定管理者として公益の増進のために適正な目標を持ち、地域住民に支持され協力が得られるように、公正な管理運営に取り組みました。

1. 保育園運営事業

(予算拠点区分：保育園運営事業/サービス区分：各園)

保育園児の状況(平成29年3月1日現在) 定員数

まえつえ保育園 19名 *前年比 ±0 (19名)

いずみこども園 36名 *前年比 ±0 (45名)

ひばりこども園 16名 *前年比 -4 (25名)

つづき保育園 12名 *前年比 +1 (19名)

計 83名

2. 高齢者生活福祉センター (生活支援ハウス) 運営事業

(予算拠点区分：高齢者生活支援ハウス事業/サービス区分：各施設)

日田市前津江高齢者生活福祉センター (10名) 居者数 5名 29年3月末時点

日田市中津江高齢者生活福祉センター (12名) 居者数 6名 ()は定員数

日田市上津江高齢者生活福祉センター (10名) 居者数 3名

3. 津江老人福祉センター運営事業

(予算拠点区分：津江老人福祉センター事業/サービス区分：同)

➤ 年間利用者数 2,148人

➤ 高齢者教室の年間利用状況

軽スポーツ教室 97人 花に関する教室 42人

みんなの教室 105人 習字教室 141人

VII. その他の部門

1. 地域子育て創生事業（前津江） （予算拠点区分：保育園運営事業/サービス区分：子育て創生事業）

➤ 地域子育て支援センター 開所日数 96日 年間利用者数： 584人

2. トレーニング指導及びプール監視事業 （予算拠点区分：トレーニング指導・プール監視事業）

日田市総合保健福祉センター(2階)でトレーニングの指導及びプールの監視を行いました。

➤ トレーニング年間利用者数：11,486人 ➤ プール年間利用者数：8,565人

3. 介護予防自主事業 （予算拠点区分：その他の地域福祉推進事業）

元気で自立した生活を送るために介護予防教室（身につけよう運動習慣塾）を開催しました。

➤ 1講座（10回）×年3講座 ➤年間参加者数： 39人

4. 納骨堂管理事業 （予算拠点区分：地域福祉活動推進事業/サービス区分：その他の地域福祉事業）

昭和37年8月に竹田公園内に建立した納骨堂の納骨の状況は次のとおり。

なお、盆及び彼岸には納骨堂を開扉して供養を行いました。

28年度末納骨数： 179体 （前年比+7体）

5. 各種団体への支援事業 （予算拠点区分：地域福祉推進事業/サービス区分：助成事業） （予算拠点区分：共募配分金事業/サービス区分：老人、障害福祉事業）

各種団体へ事業費を助成しました。

日田市民生委員児童委員協議会	日田地区盲人協会
日田市ボランティア連絡協議会	日田断酒会
日田市老人クラブ連合会	日田フレンドワーク家族会
日田市身体障害者福祉協議会	日田市手をつなぐ育成会
日田市母子寡婦福祉会	計 1,425,000円

6. 熊本地震における職員派遣

熊本地震で被災した地域を支援するために、職員を一定期間、継続的に被災地の災害ボランティアセンターへ派遣しました。

派遣先： 熊本県西原村、南阿蘇村

派遣期間： 4月28日～7月17日

派遣人数： 11名（西原村2名、南阿蘇村9名）

7. 心身障害者福祉事業 （予算拠点区分：介護保険事業/サービス区分：福祉用具事業）

介護保険非該当者に、電動ベッド、車いすの貸出を行いました。

◆料

機器名		28年度末現在 利用者数
1	電動ベッド	79人
2	車椅子	45人

金

電動ベッド (月)500円

車椅子 (月)200円

8. 寄付金、会費の状況

(予算拠点区分：地域福祉推進事業/サービス区分：組織運営事業、会費事業)

① 寄付金年度別採納状況

(単位：円)

年度	香典返し寄付金		一般寄付		指定寄付		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
28	104	5,395,000	11	501,425	10	860,000	125	6,756,425

② 社協会費年度別収納状況

一般会費は、市社協が行う事業費に充てられます。特別・法人・特別協賛会費は、地区社協事業の助成金として全額地域に還元しています。

(単位：円)

年度	一般会費 (1口200円)	特別会費 (1口1,000円)	法人会費 (1口2,000円)	特別協賛会費 (1口10,000円)	合計
28	4,378,002	6,628,392	1,000,000	230,000	12,236,394
	21,891口	6,629口	500口	23口	29,043口